

# ほけんだより 9月

“暑さ寒さの彼岸まで”と昔から言いますが、今は彼岸を過ぎてもなかなか暑さが落ち着かず、残暑つづきの日々。世界的な気候変動により、台風の大型化、線状降水多の多発、ゲリラ降雨など、天候災害も多くなってきています。

この夏も、悲しいことにたくさんの災害が起きてしまいました。子どもたちと共に、天気のこと、気候のこと、地球のことを少しずつ学び合いながら興味関心を持ってもらえるよう取り組んでいきたいです。

これから一段と活発になる蚊の活動。刺されると本当にかゆくて嫌ですよね。実は蚊の生態はまだまだ未知なことが多く、おびき寄せる方法すら知られていないそうです。人間が思っている以上に実は蚊のほうが頭がよかったり…。

でも、刺されてしまった時の対処法や注意点については分かってきているようです。



## 蚊に刺されてしまったら

- 水で流す
- 石鹸で洗う
- ひたすら冷やす（保冷剤や濡れタオル）

## とびひに注意！！

6月と9月はとびひが多くなる時期です。特に9月はかき壊しからのとびひが増えてしまいます。保護と洗浄をこまめに行うよう、気をつけてください。



## どんだんさんに 聴力検査を実施します。

### こんな症状はありませんか??

- 向かい合って話せば通じるが背後から声をかけると返事をしない。
- テレビ音を大きくしたり近づいている。
- 会話をしているけど何度も聞き返す。
- 話しかけられてもぼんやりしたり後から聞き返したりすることが多い。
- よく耳を触っている。

※健診結果による受診はご家庭の判断にてお願いいたします。  
検査結果につきましては「疑いがあるか」という視点で選り出す検査のため、参考としてお取り扱いください。



*~ 8月の感染症 ~*	~*
手足口	4名
胃腸炎	3名
ヘルパンギーナ	9名
コロナウィルス	3名
百日咳	1名
RS ウィルス	2名
突発性発疹	1名
インフルエンザ	5名

### ※新型コロナウイルスを除く

*~ 9月の予定 ~*	~*
5日（火）やま・そら	身体計測
7日（水）うみ・かぜ	身体計測
11日（月）にじ・もり	身体計測
25日（月）にじ・うみ・かぜ	内科健診

*~ だんだん聴力検査 ~*	~*
14日（木）やま、かぜ	
15日（金）そら、うみ、もり	

### 合宿に同行します

本年度も子ども達と一緒に楽しみながらサポートさせていただきます。ご心配なことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



# 9月9日は救急の日！！

9月9日は語呂合わせから「救急の日」です。普段はなかなか意識することはないかもしれませんが、“いざ目の前で人が倒れたら！？”“身近な人に何かあったら！？”“自分がけがしたときにはどうしよう！？”と考えると慌ててしまうかもしれません。

そんな時でも、慌てず落ち着いて応急救護対応をとれると、少しでも治療の助けになるかもしれません。ちょっとしたことですが、このお便りが参考になってくれると嬉しいです。



## 応急手当の基本は RICE(ライス)

まず、応急手当といっても何をしたらいいの！？となる方が多いと思います。そんな時に、思い出せると役立つのがこの基本。ぜひ、参考にしてみてください。



**Rest (安静)**：ケガしたところを動かさないようにします。無理に動かしたりしない。

**Icing (冷却)**：冷却することで、痛みをやわらげ、内出血や炎症をおさえます。15分～20分を目安にして感覚がなくなったらはずして、痛みが出たらまた冷やす。

**Compression (圧迫)**：出血や腫れを防ぐために、包帯やテーピングで軽く圧迫するように巻きます。

**Elevation (挙上)**：心臓より高い位置に上げることで、内出血を防いだり痛みをやわらげたりすることが出来ます。

## AED ってどこにあるの？

突然の対応が必要になったとき、どこに何があるかを知っていると少し安心につながるかもしれません。同時に、どんな処置が必要になるのかをご紹介します。

AEDは心臓のリズムを正常に戻すために電気ショックを与える機械です。子どもにAEDを使用する場合も、成人用のパッドを使用します。少しでも早く命の危険を救うためには、どこにAEDがあるかを確認しておくといいでしょう。

AEDの設置場所は全国マップがあります。



AEDの操作手順は、本体からのアナウンスや、絵での表示があります。使うには勇気が要るかもしれませんが、勝手に電気ショックが流れることはありませんので、ご安心ください。近くにいる人に119番を依頼します。体にパッドを2枚貼ると、まずは電気ショックが必要かを判断してくれます。電気ショックが必要な場合は、「電気ショックが必要です。」とアナウンスがあります。患者から離れ、ボタンを押すと電気ショックが実施されます。操作方法は動画もありますので、ご覧いただくといざという時に落ち着いて行動ができるかもしれません。

出典：Google マップ